

なかむら散歩 34～秀吉清正記念館⑥～

秀吉記念館は兼松正吉ゆかりの資料 40 点を所蔵しています。

兼松正吉は、織田信長、織田信雄、豊臣秀吉、豊臣秀次、徳川家康、松平忠吉、徳川義直に仕えた在地武士です。信長から足半を拝領した逸話が特に有名です。

尾張の武将 兼松正吉

兼松正吉は、1542 年（天文 11）尾張葉栗郡に生まれ、86 年を生きました。信長公記にも、正吉のエピソードがいくつか記録されています。

↓↓↓足半のエピソード↓↓↓

1573 年(天正元)8月、正吉は刀根坂の戦いの折、草履をはく暇もなく、裸足で駆け回って戦い首級をとったので、信長が日ごろから携帯していた足半(あしなか)を与えたという(「信長公記」巻6より)。

兼松家の家宝とされ、文書などとともに秀吉清正記念館に寄贈されました。



兼松正吉像
(名古屋市博物館蔵)
秀吉清正記念館 展示パネルより



足半
名古屋市指定文化財

織田信長が、兼松正吉に与えた足半が目の前にあると思うと感動ものです。

現在、秀吉清正記念館で展示中です。

なかむら散歩 35 秀吉清正記念館 番外編

～兼松家武家屋敷門～

かつて東区筒井二丁目にあった尾張藩士兼松家の長屋門。昭和 42 年に東山公園に移築され、健在です。



寄棟造 棧瓦



板扉

出格子窓
武者窓



くぐり戸



葦の門松 (東山公園ブログより)

兼松家では、兼松正吉以来、縁起がよいとして正月に葦の門松を立てました。それに習い、東山公園では毎年葦の門松を立てるそうです。

なかむら散歩 36 ～太閤秀吉功路を歩く①→②～

中村区役所さんががんばってつくった「太閤秀吉功路」30テーマのレリーフ。せっかくなので、ぶらぶら歩きながら、絵本太閤記の世界を味わってみましょう！

最初は、名古屋駅の太閤口を出たところから始まります。店がたくさん並んでいます。

